

(2) 就業状況

『正規社員』では「製造業」の割合がもっとも高い (22.0%)。一方、『非正規社員』では「その他サービス業 (14.4%)」がもっとも多く、僅差で「卸売業、小売業 (14.1%)」「宿泊業、飲食サービス業 (12.4%)」が続く。

勤続年数については『正規社員』では5年以上がほぼ半数 (48.7%) であるのに対し、『非正規社員』ではその割合は2割弱 (15.1%) にとどまる。

『正規社員』では年収が300万円未満の層は全体の2割 (22.4%) にとどまるのに対し、『非正規社員』では9割以上 (93.3%) を占めている。

